

2026年度
稲盛科学研究機構(InaRIS)
フェローシッププログラム
申請書

2025年 月 日

公益財団法人 稲盛財団 御中

申請者

氏名(フリガナ)

(西暦 年 月 日生 歳)

所属機関・学部 (もしくはそれに準ずる部署名)・役職 (正式名称)

任期

任期の定めあり (西暦 年 月から 年 月まで)

任期の定めなし

所属機関住所 〒

Tel: - - E-mail:

下記の通り貴財団の稲盛科学研究機構フェローに応募いたします。

記

長期的な研究テーマ(和文)(30字以内)

長期的な研究テーマ(英文)

研究のキーワード(5キーワード以内)

研究の概要(600字以内)

科学的な問い・目的・内容・背景等を簡潔に。専門外の選考委員にも理解できるように。

※14 ページ(外部資金受領状況)以外の増ページ、レイアウト変更・枠の拡大はしないでください。

1. 研究者としてのアピールポイントおよび考え方

「このような分野を切り開いてきた」、あるいは「このような他の人にならぬ発想を持っている」、研究者として大切にしていること、ベースにしている考え方 etc.

2. 本研究を推進する動機および抱負

3. 申請者の略歴

4. 申請者の主な著書・論文・特許(計 10 冊/報まで)

総説を含めても結構です。共著・共同論文の場合は全員の氏名を明記し、ご自分の氏名には下線を引いてください。その中で特に重要な 5 冊/報について、その重要性をそれぞれ 200 字程度以内で説明してください。非常に多数の著者からなる場合は 10 名までの記載とします。

4. 申請者の主な著書・論文(計 10 冊/報まで)(つづき)

5. 研究目的・背景・内容(詳細)

5-1. 科学的な問いおよび目的

5-2. 着想に至った経緯とこれまでの研究実績

必要な項目については参考文献(雑誌名)を記入してください。

5-3. 本研究分野の国際的な視野に立った現状の説明

重要な項目については参考文献(筆頭著者、雑誌名、年も含む)を入れてください。

5-4. 本研究の内容

本研究の内容(つづき)

6. 本研究開始後 3 年間の具体的研究計画

7. 本研究の学術的独自性と創造性

8. 現時点で想定される主な使途(初年度分)

(「人件費」「装置」「試薬等消耗品」「旅費」など使用目的が明らかになるように記入ください)

9. 申請者の研究活動についての照会先(2名)

(照会先となられることについて、必ず申請書提出前に本人に了解を得ておいてください)

氏名: 所属・役職:

Tel: — — E-mail:

氏名: 所属・役職:

Tel: — — E-mail:

10. 研究資金の獲得状況

(次ページ記載の、現在支給されている研究の内容と本申請との関係について、解説してください)

2023年度以降受領の、他の助成金・補助金・奨励金があれば、受領予定のものを含め、公的・民間問わず全て記載してください(分担研究者である場合も含む)。

(1)受領期間 (2)支給団体名 およびプログラム 名	代表/分担の種別 どちらかに○ 分担の場合は代表者の氏名・所属 名	研究課題名	金額 (直接経費) (単位:万円)
(1) 20 年度～ 20 年度 (2)	・代表 ・分担		申請者への 配分額 総額
(1) 20 年度～ 20 年度 (2)	・代表 ・分担		申請者への 配分額 総額
(1) 20 年度～ 20 年度 (2)	・代表 ・分担		申請者への 配分額 総額
(1) 20 年度～ 20 年度 (2)	・代表 ・分担		申請者への 配分額 総額
(1) 20 年度～ 20 年度 (2)	・代表 ・分担		申請者への 配分額 総額
(1) 20 年度～ 20 年度 (2)	・代表 ・分担		申請者への 配分額 総額

申請者への配分額と総額の両方を記載ください。(申請者が全額受領している場合には同じ額を両方に入れる) 受領開始から受領終了までの受領期間および金額をすべて記入してください。

推薦者(大学あるいは機関の代表者)

本申請者が公益財団法人稲盛財団による稲盛科学研究機構フェローの申請資格に合致することを証し、フェローの責務についても承認し、間接的経費の上限についても確認の上、本申請を推薦いたします。

推薦者所属機関・職名

(公印を押印ください)

推薦者氏名(フリガナ)

印

申請者氏名

推薦理由(400字以内)

推薦者住所 〒

電話番号

— —

本件に関わる事務担当

所属部署(役職)

氏名

電話番号

— —

E-mail